

コンポストを使って生ごみを堆肥化しよう！



コンポスト容器(生ごみ堆肥化促進容器)を使用していただくことによって、生ごみの堆肥利用を促進し、ごみの減量化・資源化を推進します。

コンポスト容器の設置例



コンポスト容器の設置方法



※ 設置する場所にあらかじめ10センチから15センチの穴を掘ります。

設置方法 その2



※ 穴の中にコンポストを入れ、外側を土で埋め、踏み固めるようにします。

設置イメージ



※ 周りをしっかり踏み固めて下さい。

草・落ち葉・生ごみの投入



※ 草や落ち葉、生ごみを入れる際は、底に30cmほどの穴を掘り、コンポスト内で偏らないように、均等に敷き詰めてください。

土を入れる



※ 草・落ち葉・生ごみ類を入れ、上から土を被せます。
これをコンポストがいっぱいになるまで繰り返し、
生ごみと土のサンドイッチ状態にします。

土とよく混ぜ合わす



- ※ 生ごみと土を交互に重ね合わせるだけでは、堆肥になるまでの時間がかかります。
こまめに切り返しを行うことで時間を短縮することができます。

堆肥として使用する際は



※コンポストを地面から引き抜き、一番底の熟成している部分から土とよく混ぜ合わせて使用する。

(土と混ぜ合わせた後、2週間程度はそのまま熟成させると良い)

最後に

今回、紹介している方法は、コンポストによる堆肥化の一例です。

資源の有効利用、ごみの減量にご協力お願いします。



※コンポスト堆肥を使用して育った草花